

癌化学療法 投与計画書 (新規・変更)

カルテ番号
氏 名
生年月日
性別

提出日
主治医:

病名: EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
EGFR遺伝子エクソン20 挿入変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

手術日

患者本人へ説明した内容:

プロトコール名:Ami【SC】+CBDCA+PEM(≧80kg 2～4サイクル目)

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)
クール目
開始日
次回予定日

確認事項

- 1週間以上前からパピタン末 1g/分1を連日服用していること。
□1週間以上前にシアノコバラミンの筋注が施行されていること。(以降9週間(3サイクル)毎に1回)

	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	標準投与量
							1月 0日	
1	カロナール錠200mg		4錠	経口			○	
	レスタミン錠10mg		5錠	経口			○	
2	パロノセトロン点滴静注 バッグ(0.75mg)		1バッグ	点滴	30分		○	
	アロカリス点滴静注 (235mg)		1瓶	点滴			○	
	デキサート(6.6mg)		0.75瓶	点滴			○	
3	生理食塩液		50mL	点滴	5分		○	
4	生理食塩液		70mL	点滴	10分		○	ペトトレキセド
	ペトトレキセド	500mg/m ²		点滴			○	mg
5	生理食塩液		250mL	点滴	60分		○	カルボプラチン
	カルボプラチン	AUC=5		点滴			○	
6	生理食塩液		50mL	点滴	15分		○	リプロファズ
7	リプロファズ配合皮下注	3360mg/21mL (アミバンタマブ 3360mg 8 ボルヒアルロニダーゼ アルファ42000単位)		皮下注	へそ周囲5cmを 外した数部に 約5分かけて皮下投与		○	3360mg

※網掛け部分にご記入ください。

1サイクル: 21日
投与日: day1
サイクル数:3

※2サイクル目からのデキサートの用量は、カルボプラチン含有レジメンの中等度催吐リスクに対する制吐剤としての用量:6.6mg×0.75V=4.95mg(スベアリング)とする。

《注意事項》

- 1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。